

南平小学校長寿命化改修事業
第1回CS委員会　報告資料

2026年10月31日

本日の位置づけ

現在、「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」に基づき、日野南平小学校長寿命化改修における基本計画の策定を進めています。
長寿命化改修をする校舎の具体的な整備内容や整備方針の検討にあたり、CS委員会の皆様に進捗状況をご報告し、地域・学校との情報共有を図ります。計画を検討するうえで、学校生活や地域での利用について、気になる点や配慮してほしいことをお聞かせください。

報告・情報共有の進め方（予定）

	日時	議事
第1回（本日）	R8.10.31	検討の進捗状況の報告
第2回	R9.2.6	計画方針の報告

本日のご報告事項

- 現在の進捗状況
- 意見聴取結果（小学校教員へのアンケート結果）
- 配置方針・建設ステップの検証結果

1.事業スケジュールについて

日野市立日野第一小学校及び南平小学校は、令和7年3月に策定した「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」（以下、推進計画という）に基づき、改築・長寿命化改修が予定されている。日野第一小学校改築及び南平小学校長寿命化改修に係る設計や工事等の一連の事業を計画的かつ効率的に進めるため、当該事業に係る基本計画（※）の策定を行うこととしました。

◆推進計画（R7.3）　※南平小のみ抜粋

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21
南平小	長寿命化改修/設計・工事														

◆現在の進捗状況（R8.11）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21
南平小		基本計画	基本設計・実施設計・工事												

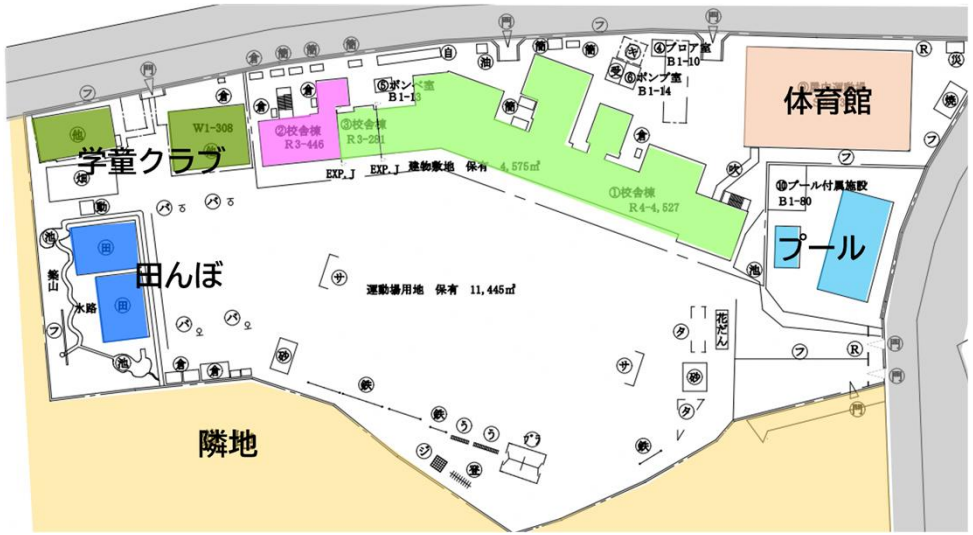
2027.7完了予定

【事業の概要】
- 業務名：日野第一小学校改築及び南平小学校長寿命化改修に係る基本計画策定支援業務
- 受託者：明豊ファシリティワークス株式会社
- 委託期間：令和8年4月24日～令和9年7月15日まで

※基本計画とは、施設整備の目的や必要な機能、規模、整備の進め方などについて整理し、今後の施設整備や設計の方向性の基礎となる考え方をまとめるものです。

２．事業の概要

南平小現況配置図



施設概要	• 敷地16,020㎡ • 校舎棟:RC造4F。5,254㎡,築44～51年 • 屋内運動場:S造2F。734㎡　築46年
学級数等	• R8:普通18　児童数497人 • 学級数の推計値:R12(14～15)
計画概要	• 長寿命改修※ • 事業期間:R9～13年度(予定)

※長寿命改修：構造体の劣化対策・設備の更新等による建物の耐久性の向上、省エネ対策や多様な学習形態に応じた環境整備などの機能向上を図るもの。
おおむね築後40年頃の時期（寿命80年の半分）に行う。

３．検討の進捗状況

主な実施事項

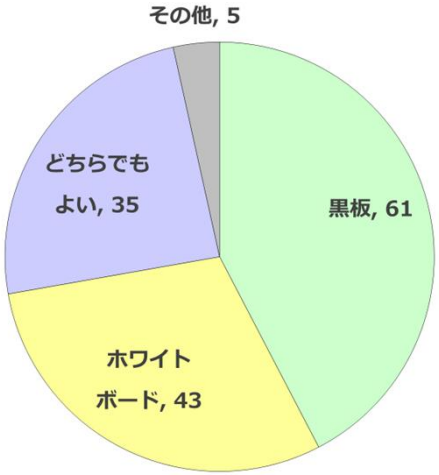
調査,課題整理	• 推進計画内容の確認 • 現地調査、改修や建築確認履歴を確認 • 学級数推計値の精査、想定補助金額の把握　等	完了
プラン検討	• 面積等の規模の精査 • 地域開放、避難所運営を考慮したゾーニング • ZEB等（断熱・太陽光）の方向性の確認 • 普通教室廻りのプラン検証 • 配置計画、仮設校舎配置の検討	進行中
意見聴取	• 庁内要望の集約、確認 • 小学校教員へアンケート実施	進行中
発注方式	• 基礎資料の整理、事業者サウンディング調査実施	進行中
合意形成	• 経過報告の庁内確認	進行中

４.意見聴取（小学校教職員アンケート結果概要）

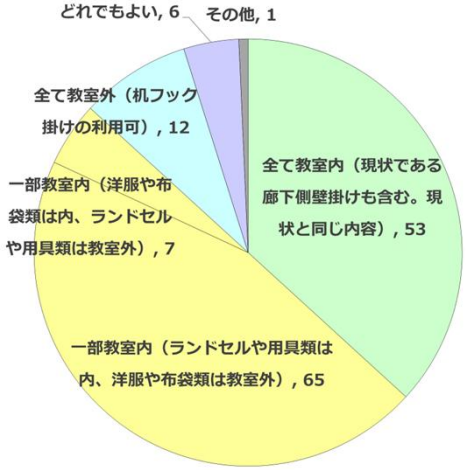
- 一小改築、南平小改修の基本計画策定を進めるにあたり、今後の学校における普通教室まわりの更新内容を決めていくため、日野市立小学校に勤務する教職員を対象にアンケートを実施
- 回答した教職員からは、従来の学校運営のしやすさを重視しつつも、可動間仕切りや大型ディスプレイなどを活用した柔軟で多様な学習環境を求める意見が多く見られました。

- 実施期間：令和8年7月8日～8月21日
- 対象　　：日野市立小学校に勤務される教職員　約680名　　回答数　：144件（回答率21.2%）

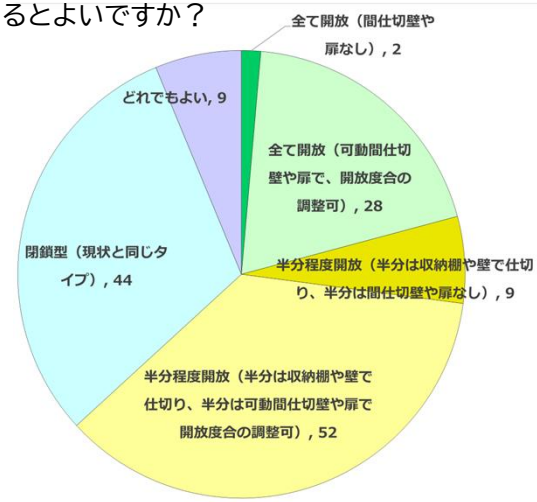
Q1:教室には、黒板とホワイトボードのどちらがよいですか？？



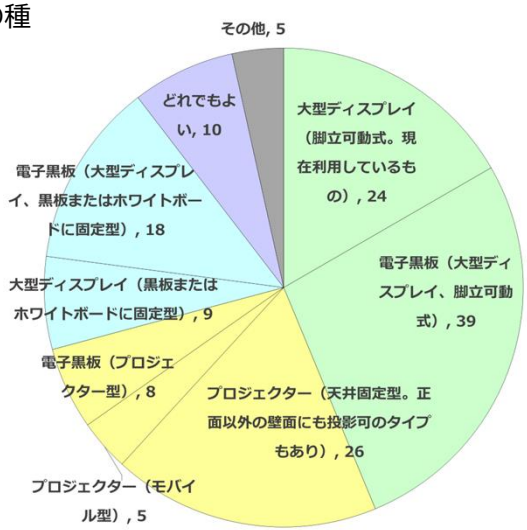
Q２：児童用収納の配置は、教室内、教室外どちらがよいですか？



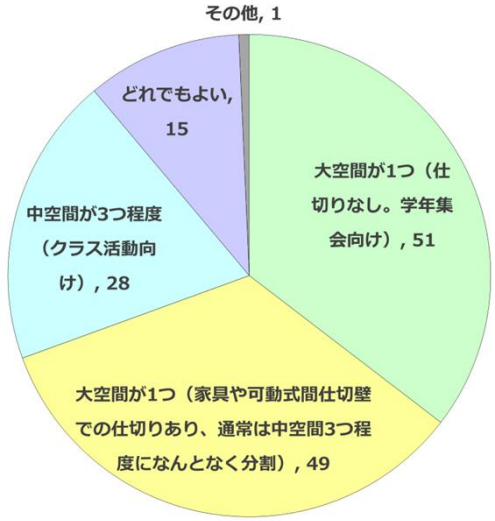
Q3:教室と周囲のスペースは、どの程度つながっているとよいですか？



Q4:授業で使う映像機器は、どの種類がよいですか？



Q５：
各学年に設けるオープンスペースの広さは、大空間、中空間、どちらがよいですか？



5.事業規模について

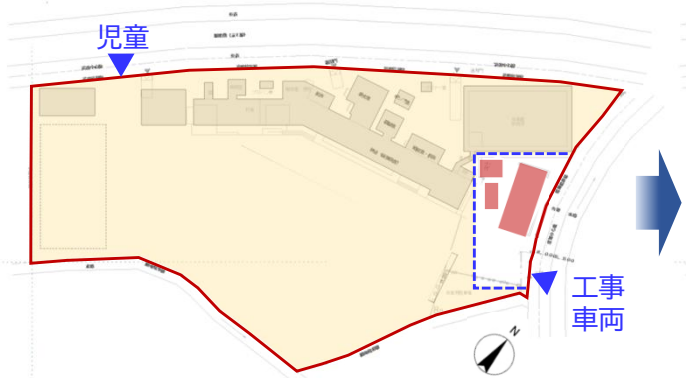
- 長寿命化改修においても、「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」に示す施設機能や整備の考え方を踏まえ、教育環境の向上を図る観点から、一部校舎の増築を計画することとしました。
  ※増築規模については、既存校舎改修と合わせて引き続き検討を行います。

6.配置計画の考え方

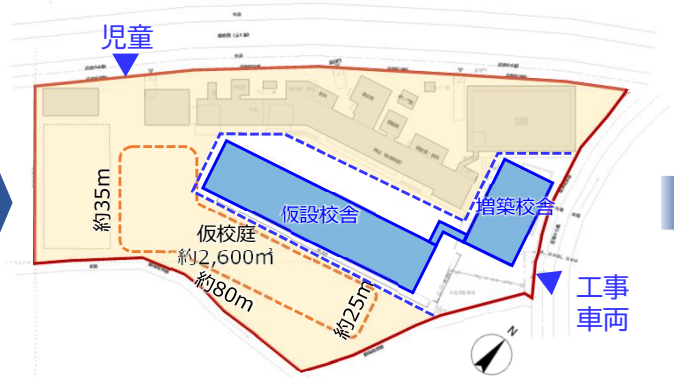
配置イメージ	
土地利用計画	• 長寿命化改修と併せて、バリアフリー化や、現在不足しているオープンスペースなどの学習環境を充実させるため、屋外プール跡地への増築を計画します。 • 増築校舎へのアクセスを考慮し、仮設校舎は増築校舎の近傍への配置を想定しています。
建設ステップ	• 仮設校舎を活用することで、教育活動への影響を抑えながら、安全かつ効率的に長寿命化改修を進めること出来る計画を想定しています。

7. 建設ステップイメージ

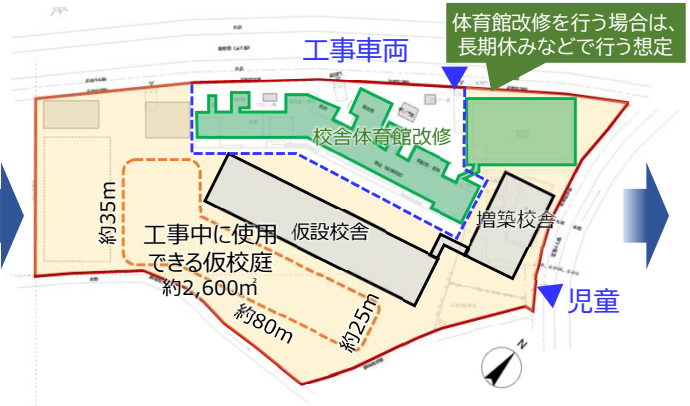
STEP 1　既存プール・更衣室解体



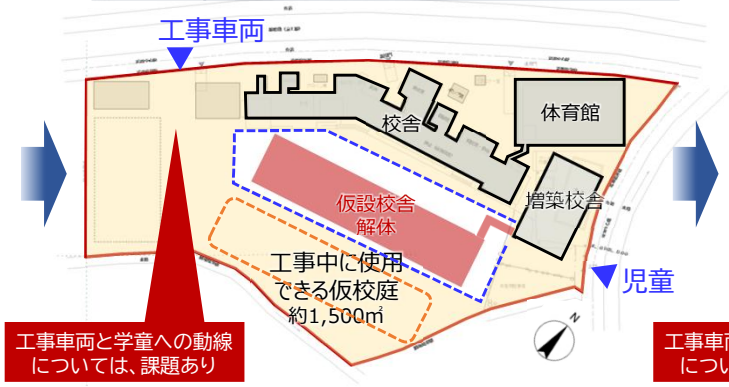
STEP 2　仮設校舎建設、増築校舎建設



STEP 3　校舎改修



STEP 4　仮設校舎解体



STEP 5　校庭整備



【凡例】

- ：既存建物
- ：解体工事
- ：建設工事
- ：工事ヤード（想定）
- ：改修工事
- ：建設後
- ：使用可能エリア

※仮設校舎のボリュームや工事期間中の動線について継続検討が必要

8. プール施設の方向性

＜学校プール施設に係る課題＞
- 屋外プール施設の老朽化（南平小：築47年）、昨今の酷暑等によるプール授業中止の増加
  （中長期的には屋外プール運営は困難）
- 学校施設全体の整備コストの増加、市全体での公共施設再編に伴う総量縮減の方向性（面積・コスト抑制へ）
- 市営プール施設老朽化に伴う施設維持に課題
- 校舎等に比べ費用対効果が不良（限定的な使用期間・維持費負担）

＜南平小長寿命化改修に伴うプール施設更新に係る選択肢＞
- プール施設を撤去後の敷地は、増築校舎用地に最適
- プール撤去後に改築する場合は、整備費が増加するため、全体建設費への影響あり（環境性能・防災機能のダウンなど）

＜南平小のプール施設整備の方向性＞
- 上述の課題等から、南平小長寿命化改修事業では、プール施設は更新せず撤去するものとし、建設開始する年度以降は
  自校以外のプール施設を利用（消防水利の機能は別に代替措置を検討）